

# 平成30年度 北九州市糖尿病重症化予防連携推進会議 議事要旨

- 1 日 時 平成31年2月12日（火）19：00～20：30
- 2 開催場所 北九州市総合保健福祉センター 61会議室
- 3 出席者 [構成員] 岡田構成員、杉本構成員、大藏構成員、古市構成員、松丸構成員、高島構成員、岡本構成員、今渡構成員、柴田構成員、穴井構成員、安永構成員、足立構成員、田中構成員  
[オブザーバー] 全国健康保険協会福岡支部、福岡県保健医療介護部健康増進課、北九州市職員共済組合  
[事務局] 保健福祉局健康医療部長、保健福祉局健康医療部健康推進課長ほか
- 4 議 題
  - I 「糖尿病連携手帳」を活用した糖尿病重症化予防の取組経緯
  - II 取組の状況
  - III 事業評価
  - IV その他
- 5 議題概要
  - I 「糖尿病連携手帳」を活用した糖尿病重症化予防の取組経緯  
議題資料により保健福祉局から説明。  
<主な内容>
    - ・H30年3月の特定健診登録医療機関研修会で実施したアンケート結果で、多職種連携の必要性は把握しているものの、うまく連携できていない実態が明らかになった。
    - ・H30年5月の特定健診特定保健指導登録医療機関研修会で、構成員がそれぞれの立場から「糖尿病重症化予防への取組」について講演を実施した。
    - ・5月に、行政から各関係機関宛に取組への協力依頼文を送付。6月に連携シール、リーフレット、ポスターの配布を開始した。
  - II 取組の状況  
議題資料により保健福祉局から説明。  
<主な内容・意見>
    - ・糖尿病専門医を受診している者は糖尿病連携手帳を所持している割合が高いが、かかりつけ医を受診している者は所持していないことが多く、まだ普及には至っていない。
    - ・糖尿病連携シールを貼っている者はいても、チェックがついていないことが多い。

- ・歯科に連携手帳を持参してくる者はまだ少ない。持ってきた者にはシールを貼っている。
- ・薬局ではポスター等で広報を行っているが、問い合わせは少ない。医療機関と連携し、薬局から連携手帳を配布した人が数人いる。
- ・イベントで血糖を測る機会があるので、その時に糖尿病が疑われる者には、リーフレット等を渡している。中にはアプリで管理している者や糖尿病であることを知られたくない者もいて、全員に配布はできていない。
- ・特定健診を実施していない眼科や二次医療機関には連携シールが行きわたっておらず、周知ができていない。

### III 事業評価

議題資料により保健福祉局から説明。

<主な内容・意見>

- ・短期目標と中長期目標に分けて指標を設定する。短期の指標は、量的評価と質的評価の両方を行う。
- ・評価時期について、短期目標は1年ごと、中長期目標は市国保データヘルス計画の評価時期に合わせることにする。
- ・血糖値の推移と合わせて、腎症のリスクである血圧の推移についても評価を行っていくべきである。
- ・まずは、糖尿病連携手帳の普及を目指す。
- ・特定健診を実施していない眼科や二次医療機関、コメディカルにも連携シールを配布し、取組への協力を依頼する。
- ・手帳を持つメリットや入手方法を分かりやすく記載したリーフレットの作成を検討する。

### IV その他

次回予定 2019年度 1回